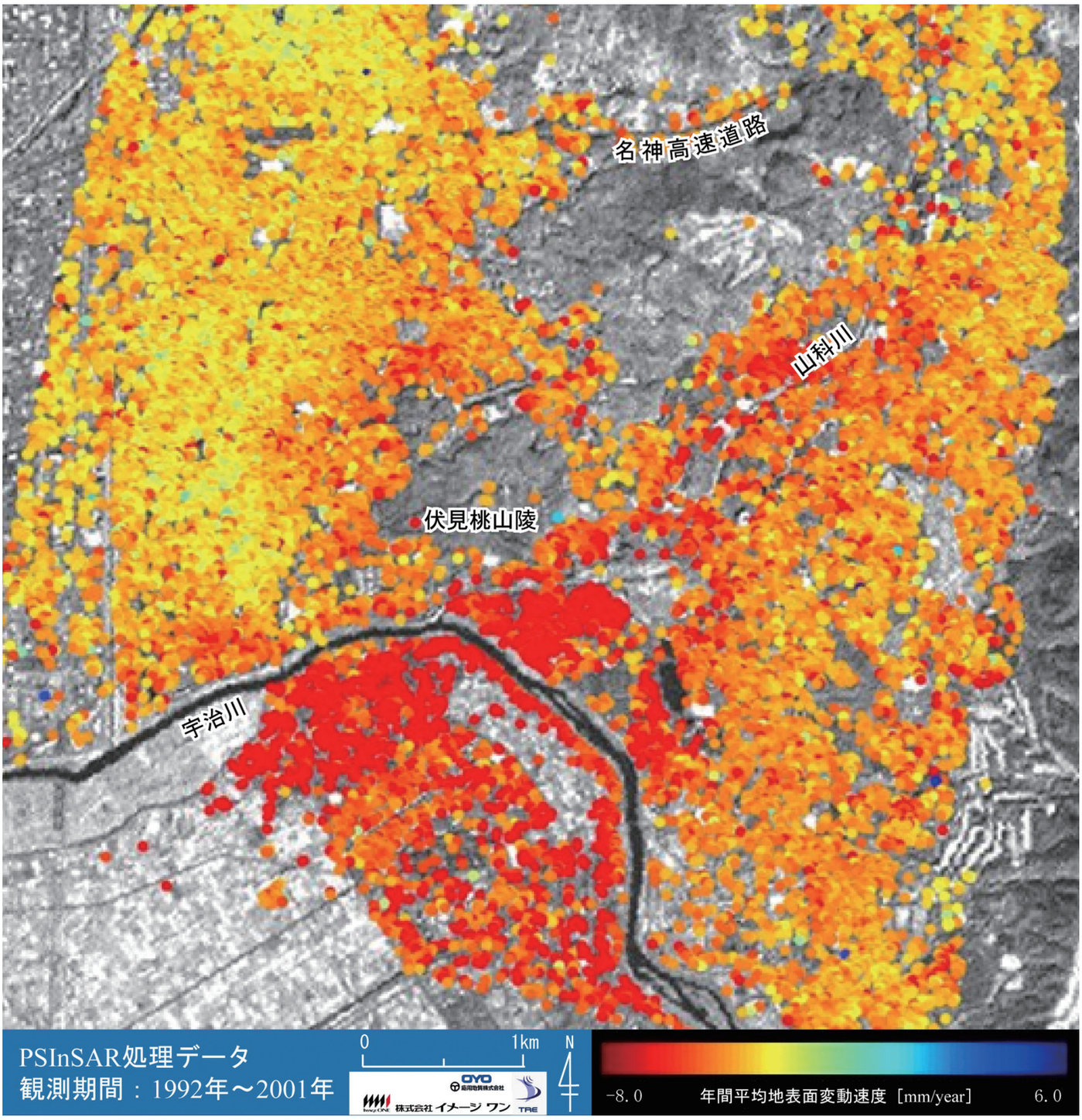
PSInSAR技術による地表面変動の計測（2）－京都盆地南部－

データ提供：株式会社イメージワン
データ編集：東京理科大学・国土情報工学研究会

下図は京都盆地南部の「年間平均地表面変動速度（mm／year）、1992年～2001年」を画像化したものです。前掲の画像と同様に人工衛星ERS（1号、2号）によって観測されたSARデータを使用しています。1977年度から京都府が地盤沈下と地下水揚水量調査を実施している地域です。宇治川の南部、山科川両岸で地盤沈下傾向（赤色系）にあることが判ります。広域かつ時系列的に地盤沈下の傾向を把握できるPSInSAR技術は、地下揚水量と地盤沈下の関係分析等、様々な視点から分析できる可能性を秘めています。